

ティーチング・ステートメント

所属 北海道科学大学 保健医療学部 義肢装具学科

名前 佐藤 健斗

作成日 2021年1月25日

【責任】

保健医療学部義肢装具学科に所属して、義肢装具士国家試験に関連する専門科目を中心とした教育活動を行っている。具体的な内容としては、義肢装具の製作に関わる実習と、運動学領域の占める割合が多くなっている。それに加えて国家試験対策WGとしての活動、入試広報センター主任としての活動、ラグビーフットボール部の副顧問を務めている。

【理念】

学生には、社会の一員として生活をしていくための常識を身に付けた上で、使用者さんに役立つ義肢装具を提供できる、提供した義肢装具に対して負うべき責任を果たせる義肢装具士として活躍してほしいと考えている。

超高齢社会を迎えた現在の日本では、要介護状態の方が自宅に帰って生活するケースが珍しくない。身体的な機能低下によって介護が必要になっているケースでは、生活がまともに成り立つか否かは、福祉用具を活用した環境整備や補装具による身体への介入がうまくいかによって大きく左右されてしまう。福祉用具、補装具による介入がうまくいかなければ生活がままならず、住み慣れた家や、地域で過ごすことができなくなってしまう方もいる。

この福祉用具、補装具の専門家である義肢装具士が果たすべき責任の重さを理解したうえで、使用者さんの生活や人生を一瞬で好転させるような、真に役に立つ補装具を提供出来る義肢装具士になってもらいたいと考えている。

【方針・方法】

上記の理念を実現するために、「学習理解度のこまめな確認をする」、「学生のモチベーション・バイタリティの維持する」、「適切な技術力・思考力・判断力の習得させる」、「社会人としての適切な行いを習得させる」という方針で活動を行っている。

・「学習理解度のこまめな確認をする」

義肢装具士は国家資格であり、国家試験に合格することによって資格を得ることが出来る。国家試験の壁を突破するために必要な知識の積み上げは、一つ一つの知識をないがしろにしては実現できない。そのために日々の授業内で教えた知識をすぐに授業内でアウトプッ

トさせるような確認問題を行ったり、翌週の授業の冒頭に小テストで確認を行う機会を担保したりするようにしている。

・「学生のモチベーションを維持する」

4年生後期に控える国家試験合格に向けて継続的に勉強をさせるためには、学生のモチベーションの維持が大変重要である。そのため、実習を含めた授業内での優れた成果物や、その作製につながる丁寧な作業等は積極的に褒め、良かった点を具体的に伝えるようにしている。それに加えて、授業での学びが将来義肢装具士として活動する際にどのように役立つのかをできるだけ具体的に伝えるよう心掛けている。

また、本学科は学生数が多くないため、必ずしも授業等でかわりがなくとも生活の様子や学習の様子が目に入ったり耳に入ったりする機会がある。学習レベルが高くない、生活習慣・態度の乱れが見て取れる、気分の落ち込みが見て取れるといった気にかかる学生には、授業の場や普段のかかわりに関係なく直接声をかけるようにしている。

・「適切な技術力・思考力・判断力の習得させる」

使用者さんに対して真に役に立つ補装具を提供するためには、「その人にとってどのようなものがよいか」を学習の中で学んだ知識を組み合わせる思考力や、補装具製作に当たって必要な材料や加工法、それを実行するのに無理がないかといった技術力や判断力が必要となる。

そのために、座学だけでは伝えることが難しい臨床の中で得た実体験を、実習の授業時間を中心に積極的に伝える機会を持つようにしている。また、すべての作業は安全に行うことが前提であることから、安全な作業を進めるために必要な、工作機械の適切な扱い方や、環境整備、気分転換の仕方等を伝えるようにしている。

・「社会人として適切な行いを習得させる」

どんなに医学領域の知識、工学領域の知識を持っていても、使用者さんがどのような事で困っているかを引き出すコミュニケーション能力がなければ適切な補装具を届けることができない義肢装具士になることはできない。礼節、約束を守る、仕事でかかわる人々と真摯に接する事が欠かせない。具体的にこれらの領域にかかわる事項のみを授業内で教えることは無いが、モラルに反する行いがあれば強く注意するようにしている。

【評価・成果】

- ・担当した科目のアンケートでは、8割程度の学生がシラバスで示される目標を達成できたと回答した。
- ・担当した科目の授業参観のフィードバックでは、概ね高評価をいただいた。
- ・昨年の実績では約7割の学生が国家試験に合格した。

【目標】

- ・ 義肢装具士として必要な職業倫理と知識、技術を身に着けさせる。
- ・ 国家試験合格率を全国平均以上にする。（R3年3月）
- ・ 国家試験合格率を100パーセントにする。（R5年3月）